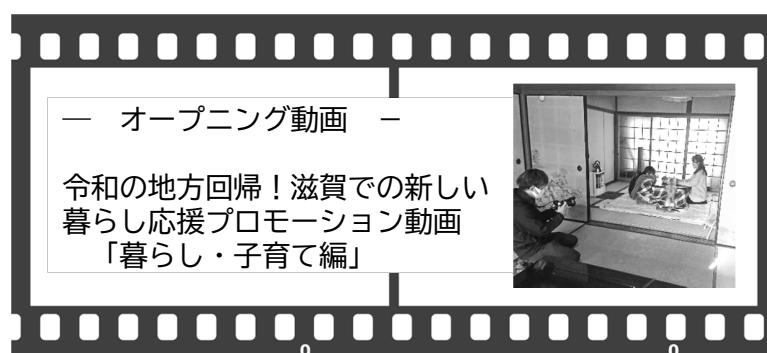


①移住・交流促進の取組について

新型コロナウイルス感染症を踏まえた 移住・交流促進の取組について



1 移住・交流に関する現状



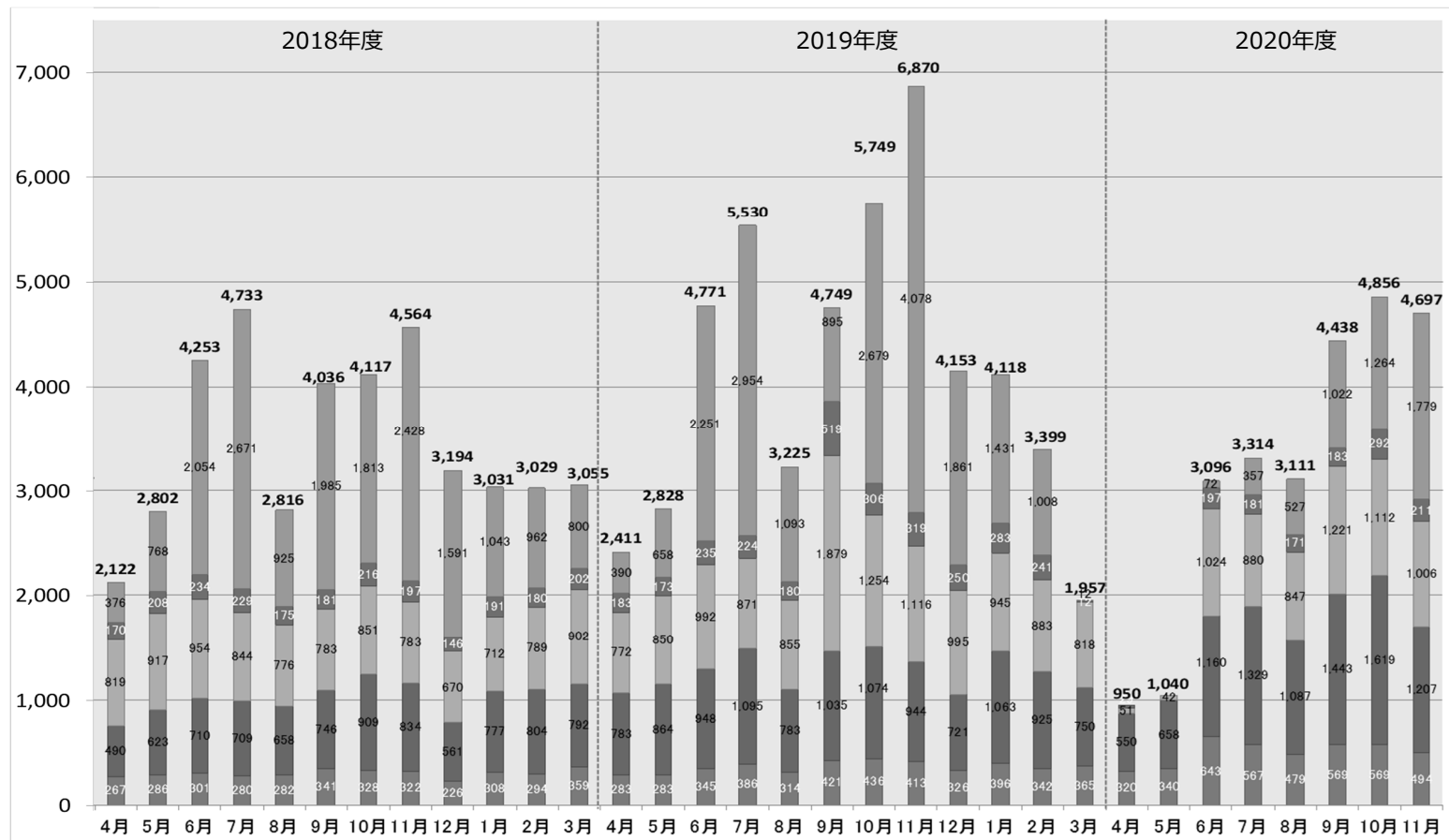
(1)移住に関する現状の考え方

- 人口減少や、高齢化に伴う地域の課題を解決するためには、今後移住や、関係人口の創出を推し進め、新たな地域活性化の担い手を確保する必要がある。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、全国的に「適度な疎」を求めて移住を考える機運が高まっている。また、オンラインツールの充実やテレワークの普及等により現在の仕事を変えることなく移住ができる環境も生まれている。
- この機を逸することなく、特に若い世代を中心に、これからの滋賀を担う層を呼び込むための有効な施策、そしてウィズコロナの時代の新たな移住・交流のあり方について、県・市町がともに考えていきたい。

- ▶ まち・ひと・しごと創生本部事務局調査(R2.1~3月)
 - ・東京圏在住者の49.8%が「地方暮らし」に関心、地方圏出身者に限れば6割強が関心

(1)ふるさと回帰センター 相談件数推移

■セミナー ■見学 ■メール ■電話



- ▶ 緊急事態宣言等を受けた休館等の影響はあったものの、6月以降相談件数は増加傾向
- ▶ リモートワークが可能になり背中を押されたという事例や、農業、林業、Uターンなど具体的な相談が増加。20代から30代の若い世代の相談が多い。

2 推進体制



○ 移住促進に係る県の役割として、移住先としての魅力の県外発信や、移住者を受け入れる市町への支援が重要と認識しており、県と9市4町3団体1大学で構成する滋賀移住・交流促進協議会において市町や移住支援団体の意見も踏まえながら施策を進めている。

団体区分(負担金額)	団体数	内 訳
滋賀県 (@30万円)	1	市町振興課、労働雇用政策課、農村振興課
市 (@3万円)	9	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、甲賀市、湖南市、高島市、東近江市、米原市
町 (@2万円)	4	日野町、愛荘町、甲良町、多賀町
民間団体 (@1万円)	3	湖東地域定住支援ネットワーク、葛川村づくり協議会、滋賀人
県立大学(アドバイス等)	1	
計	18	※次年度から山中比叡平まちづくり協議会が加盟予定

市町、企業・団体の皆さんの新規加盟をお待ちしています！



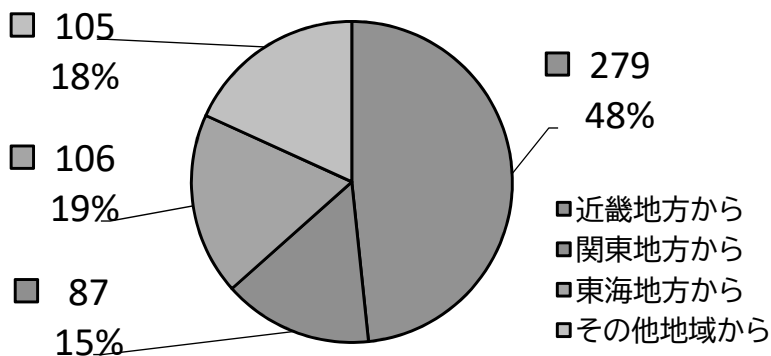
3 本県の移住関係データ



(1) 県外からの移住件数・移住者数の実績

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	計
世帯数	98	135	107	117	120	577世帯
人数	144	244	182	197	199	966人

[世帯出身地域割合]



※ 第一期総合戦略におけるKPI「移住施策に取り組む市町への県外からの移住件数：5年間で300件」を達成

次の12市町における住民課窓口アンケートの結果や移住相談の実績等を報告いただき集計しています。御協力ありがとうございます。

彦根市／長浜市／近江八幡市／甲賀市／高島市／東近江市／米原市／日野町／愛荘町／豊郷町／甲良町／多賀町



4 主な移住関連事業



情報発信

(1) 令和の地方回帰！滋賀での新しい暮らし応援事業(9月補正事業)

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うテレワーク等の普及や、「適度な疎」を求める移住機運が高まっている時機を捉え、豊かな自然環境や都市部との良好なアクセスを有し、便利に田舎暮らしや子育てができる移住先としての本県の特徴を紹介する動画等を作成し、SNS等、様々な媒体を組み合わせる都市部住民に向け発信。
- コロナ禍の中で市町が実施する、「新しい生活様式等への対応」を行う移住促進事業に対して補助。(1市町50万円上限)



今月末までInstagramで県民参加型動画投稿キャンペーンも実施中です。

(2) 移住ポータルサイト「滋賀ぐらし」の運営

- 本県の地域特性のほか、移住希望者が求める「仕事」、「子育て」、「住まい」に関する県、市町の支援情報や先輩移住者の体験談など、県内地域の魅力等の情報を掲載。(昨年度約8千アクセス)



イベント情報等掲載情報随時受け付けています！



移住・就業体験

(3) 滋賀ぐらし魅力体験発信事業

- 移住希望者が本県での「暮らし」と「仕事」を体験することを支援するとともに、その体験談をWEB等で発信することにより更なる魅力発信を行う。(今年度は、東近江市、高島市、米原市、彦根市、甲賀市、近江八幡市で体験プラン実施。)

地元自治体職員の御案内が参加者に響きます。来年度も引き続き御協力をお願いします。



古民家改装見学
(甲賀市)

6

(4) 就業体験事業

- UIJターン就職希望者等が就業体験を通じて県内企業への理解を深めることにより、ミスマッチや就業への不安を解消し、本県への移住・UIJターン就職を推進する。また、体験内容を「WORKしが」に掲載することで県内企業の魅力を発信。

移住体験だけではできない、リアルな「就業体験」を提供。

- ① 滋賀の「いろいろな面白い」仕事を知ることができる
- ② 移住して働く「リアルな交流」が体験できる
- ③ 滋賀に「くらす・はたらく人」に繋がる

移住相談、セミナー・フェア

(5) しがIJU相談センターの運営

- 東京・有楽町に設置したワンストップ移住相談窓口「しがIJU相談センター」を拠点に、移住希望者と市町のマッチングを支援
- 常勤の専属相談員一名を配置し、各市町の情報・移住各種支援メニューの情報提供



アウトドア企業の
総合体験
(高島)



私が相談員の池田です。滋賀の各地域の情報を頑張って発信しています！

7

(6) オンラインでの移住セミナーの開催、フェアへの出展

- 本県への移住促進にあたり、新型コロナウイルスの影響が見通せない中で、オンラインでのセミナー開催や、各種フェアへの出展等を試行。
- オンラインの特性を生かし、首都圏だけでなく全国に向けて、現地の特徴ある施設等から発信。

HORA AUDIO
(彦根市)

多賀結いの森
(多賀町)

sato kitchen
(高島市)

居醒庵
(米原市)

是非、各地域の魅力が伝わる面白い企画を御提案ください。



8

支援金等

(7) 移住支援金

- 東京圏から県内の連携市町に移住した方が、移住就業者を対象としたマッチングサイトの対象法人の求人に応募し、採用後、3か月以上継続して勤務した場合に、移住先の市町から移住支援金を支給。県は支給する市町を補助。

連携市町として移住支援事業の実施を御検討ください。



(8) 自治振興交付金(提案事業)

- 地域の状況を熟知する市町が、地域特性や地域課題等に応じて施策や事業を自由に制度設計できるよう、自治振興交付金に提案事業を設定。

対象事業内容: ①若者がとどまる ②外から移り住む ③子どもを育む
活用事例 : 空き家バンクの運営、移住定住促進のための住宅リフォーム補助等

コロナ禍を乗り越え、移住を進める創意工夫をお願いします。



9

5 関係人口の創出



本県出身者や滋賀の暮らしびりに共感する人など、県外在住であっても、県内の各地域に継続的に多様な形で関わる、「関係人口」の創出に取り組み、地域の新たな担い手の創出、将来的な移住定住につながる層の拡大を図る。

(1) “Connect-Shiga”創出事業

- 首都圏等の都市部在住者を対象に、地域課題解決に向けたゼミの開催や来県機会の創出、県内人材との交流、フィールドワーク等を実施することにより、本県との継続的なつながりを創出する。
- 首都圏において東京本部がLINEを活用した「滋賀応援コミュニティ」を立ち上げる。
 [本年度テーマ] ◆高島市椋川地区:withコロナの都市農村交流モデルを探る
 ◆多賀町:低環境負荷の多賀産材木を使った商品アイデア創出

高島市
椋川地区



多賀町



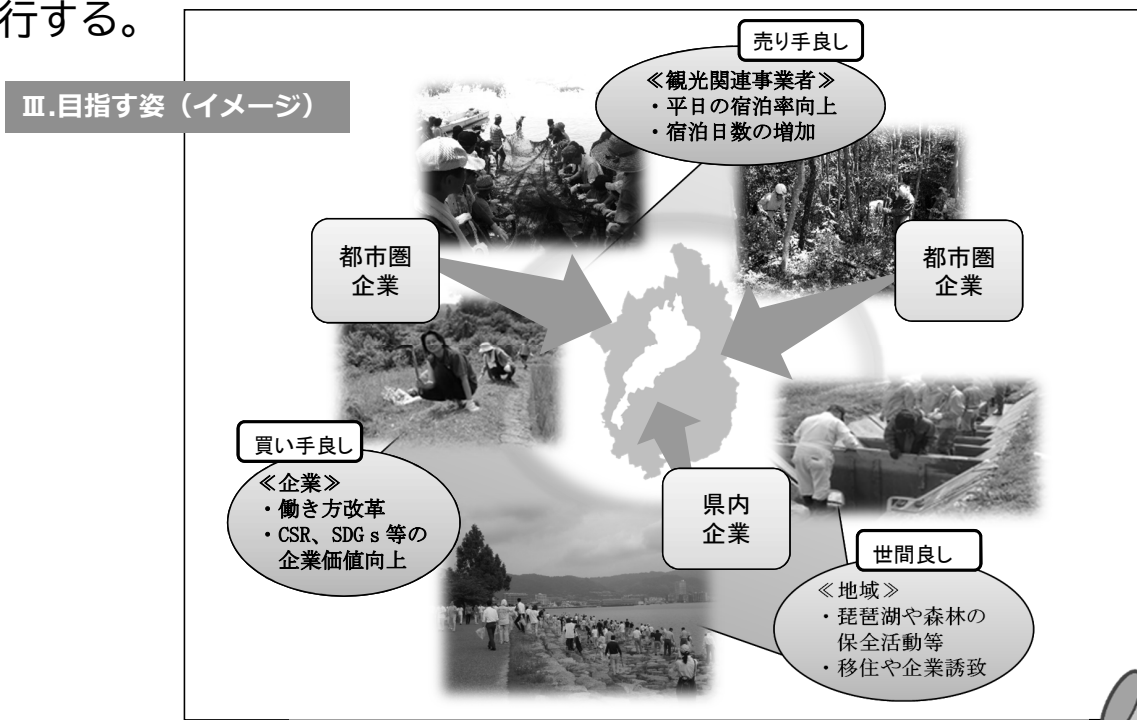
来年度もテーマ募集しますので是非迎え入れを御検討ください。



(2) 令和2年度滋賀県版ワーケーション導入事業 (9月補正事業)



- 県内各地の宿泊施設を活用して、県内外からの観光客に地域での地域貢献活動や、一時的な県民となってもらえるような活動を含めたワーケーションプランを試行する。



各地の自然・歴史文化等を生かした滋賀らしいモニタープランの造成に是非御協力ください。



6 移住・交流促進に向けた連携



○ 関係人口の創出から定住まで、市内の様々な関連事業を結び付け、市町とも連携しながら、様々な分野で「選ばれる滋賀」を目指し、取組を強化していきます。

1ターン

京都府→滋賀県
会社員
1986年生まれ
長浜市在住

「仕事と趣味と家族の時間。自分の求める理想がここに」

1ターン

東京都→滋賀県
兼業梨農家
1984年生まれ
東近江市在住

「テレビで見た田舎暮らしに憧れて、梨農家を目指しました！」

1ターン

埼玉県→滋賀県
地域おこし協力隊
1989年生まれ
彦根市在住

「サンプルは自分自身。移住したい人に、本当に役立つリアルな情報を届けたい」

1ターン

大阪府→滋賀県
陶芸家
1969年生まれ
甲賀市在住

「信楽に来て25年。いまでは移住者を受け入れる立場になりました」

1ターン

愛知県→滋賀県
日野町在住
カフェオーナー

「町屋に導かれるようにカフェをオープン。みんなが集い、語らう場に」

1ターン

愛知県→滋賀県
近江八幡市在住
1995年生まれ
靴職人

明治から続く伝統産業「八幡靴」の将来を担う若き移住者

1ターン

東京都→滋賀県
観音ガール
1993年生まれ
長浜市在住

「移住するなら今しかない！留学するつもりで移住にチャレンジしました」

1ターン

京都府→滋賀県
大津市葛川在住
介護職員

「移住の一步は、家族の大きな一步。移住で手に入れた理想の子育て環境」

令和の地方回帰 — “選ばれる滋賀”を目指して

総合企画部 総務部 文化スポーツ部 琵琶湖環境部
商工観光労働部 農政水産部 土木交通部

コロナ禍において、「人とのつながり」の大切さが再認識されるとともに、「新しい生活様式」のあり方が模索されています。「適度な疎」や豊かな自然・歴史を有する滋賀の強みを生かし、仕事・暮らし・文化・観光といった多様な分野において、新しい時代に選ばれる滋賀を目指します。

関係人口から定住へ

『暮らし』『文化』で選ばれる滋賀

文化財 豊かな自然、歴史、文化に囲まれた滋賀
【「近江の城」魅力発信事業】
○ミニ出張！お城EXPOin彦根城の開催
○東京でのお城講座・しがIJUセンターとの連携
○観光施策と連携し、滋賀の魅力を「再発見」する旅をPR
【文化芸術振興課・文化財保護課・観光振興局】

観光 女性目線で滋賀をアピール！
【農村女性がつなぎ・かがやく滋賀の「食と農」魅力発信事業】
○オンラインセミナー等を用いた女性農業者等による首都圏向けの魅力発信
【農業経営課・東京本部】

『ワーケーション』で選ばれる滋賀

『ワーケーション』で「観光三方よし」
【ワーケーション推進事業】
○「びわ湖の日40周年」をきっかけとした琵琶湖との関わり創出
○森林療法および森林保全活動プラン
○棚田や果樹園等での農作業体験プラン等

「滋賀らしいワーケーション」
売手よし：観光関連事業者等平日の宿泊率向上等を目指す
買手よし：企業等働き方改革・SDGs等で価値向上を図る
世間よし：地域課題や琵琶湖や森林の保全活動、移住・企業誘致を目指す
【観光振興局・環境政策課・森林政策課・農村振興課・東京本部】

『仕事』で選ばれる滋賀

就業促進 滋賀に誘う入口での就業支援
【滋賀での移住・U/Iターン就職支援事業】
○就業体験ツアーと移住体験ツアーの新たなコラボレーション
○移住就業ウェルカム企業説明会
【労働雇用政策課・市町振興課】

移住 『移住先』として選ばれる滋賀

農業農村 よろずに応える移住相談会！
【移住相談会】
○先輩移住者やU/Iターン就職者によるゲストーク
○就農相談員による農業での働き方紹介や個別相談
【市町振興課・労働雇用政策課・農業経営課】

移住体験 滋賀の暮らしと仕事を現地で体験！
【滋賀ぐらし魅力体験発信事業】
○「やまの健康」モデル地域での体験
○漁業体験研修プランの追加
○農山村生活や農作業の体験
○専門相談員による就農相談等のアフターフォロー
○空き家活用・リフォーム支援制度の情報提供
【市町振興課・森林政策課・農業経営課・水産課・農村振興課・住宅課】

漁業体験 滋賀の暮らしと仕事を現地で体験！
【滋賀ぐらし魅力体験発信事業】
○「やまの健康」モデル地域での体験
○漁業体験研修プランの追加
○農山村生活や農作業の体験
○専門相談員による就農相談等のアフターフォロー
○空き家活用・リフォーム支援制度の情報提供
【市町振興課・森林政策課・農業経営課・水産課・農村振興課・住宅課】